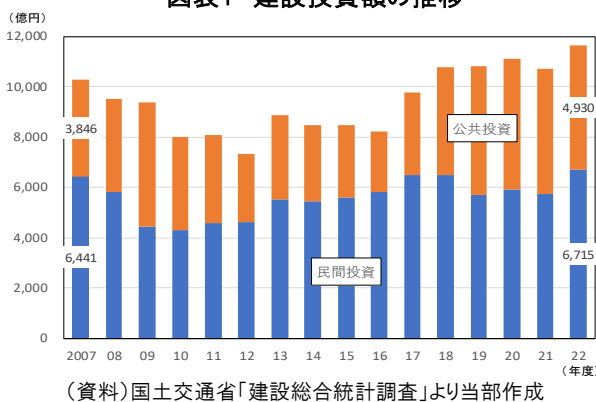


底堅い推移が見込まれる広島県内の建設投資

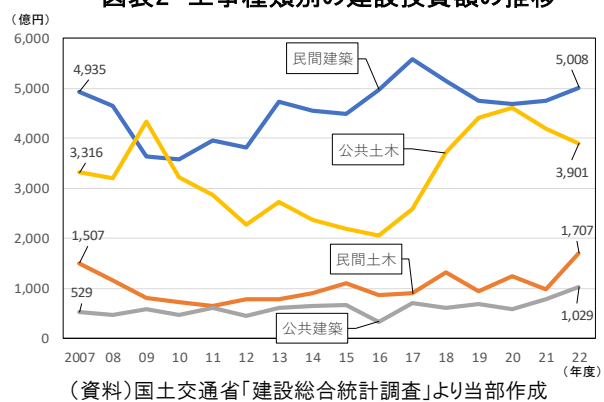
増加傾向が続く広島県の建設投資

近年、広島県内の建設投資額は堅調に推移しています。このうち、公共工事は「平成30年7月豪雨」災害の復旧工事が一段落した後も、国土強靱化施策に基づく防災・減災工事やサッカースタジアム建設等から高い水準を維持し、民間工事も工場新設等を中心に増加しています(図表1・2)。

図表1 建設投資額の推移



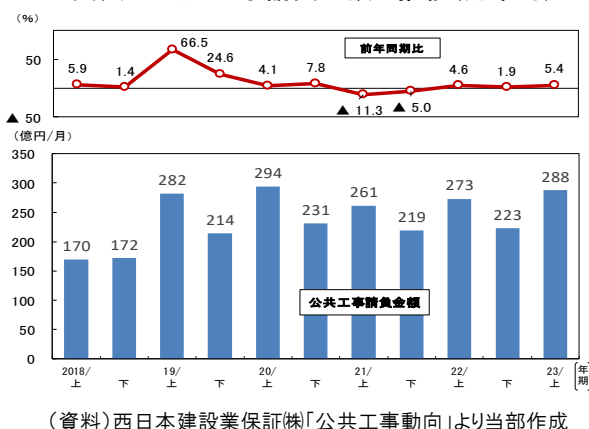
図表2 工事種類別の建設投資額の推移



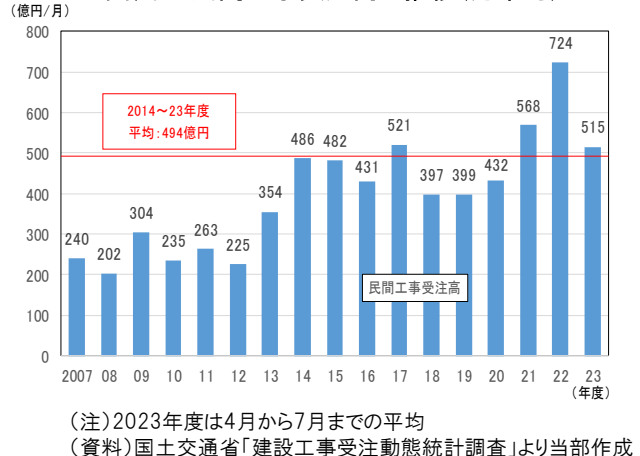
今後も底堅い推移が見込まれる

2023年度上期の公共工事請負金額は前年同期比+5.4%とプラスを維持し、2023年4~7月の民間工事受注高(月平均)も515億円と10年間の平均(494億円)を超える高水準が続いています(図表3・4)。こうした先行指標の動きから、広島県の建設投資は当面は底堅い推移が見込まれます。

図表3 公共工事請負金額の推移(月平均)



図表4 民間工事受注高の推移(月平均)



- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：畑 (TEL082-247-4958) までお願いします。